

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------|-------------------------------------|--|---|--|
| 家計 動向 関連 | 良く なっている | 住宅販売会社 (経営者) | 販売量の動き | ・受注状況は、前年比96%で下回っているが、3か月対比では142%と大きく伸びている。 |
| | | 商店街(代表 者) | 来客数の動き | ・順調に春が近づいてきたためか、中旬以降の出入が昨年より1~2割ほど多いような感じである。 |
| | やや良く なっている | 商店街(代表 者) | 販売量の動き | ・3月後半になり、購買単価の上昇ないしは来客数が増加している店が出てきている。 |
| | | 百貨店(企画担 当) | お客様の様子 | ・客の様子には、商品の見方や動きなどに積極性が感じられる。しかし就職率の低下や少子化等による新入学需要の減少など、モチベーション需要によって喚起されていた3月のパワーが低下している。小売業にとっては3月の新しい需要喚起が必要である。 |
| | 百貨店(売場担 当) | 販売量の動き | ・新しい職場や入学などのオケーションに合わせ、目的を持って高額商品を購入するケースが増えている。特に現金払いの客が多い。 | |
| | スーパー(経営 者) | 来客数の動き | ・競争が一服という状態となっており、客数が戻ってきている。 | |
| | スーパー(経営 者) | 来客数の動き | ・今年に入ってから今月前半までは、来店頻度や客数が好転してきており、客の買い物も従来より多少余裕が見られる中身となっている。今月中盤以降は、当社の特殊事情で、総額表示を早めに行ったため、その後の客の動向に極端な変化が出ており、これが一過性のものなのか、常態化するのかわからない。 | |
| | コンビニ(エリ ア担当) | 来客数の動き | ・客数が前年をクリアしている。しかし単価は持ち直しておらず、売上全体では前年を割っている。 | |
| | コンビニ(エリ ア担当) | 来客数の動き | ・担当エリアにおいては客単価が低下し、売上が昨年を下回る状態が続いているが、客数は昨年より増えている。 | |
| | コンビニ(エリ ア担当) | 販売量の動き | ・暖冬によって、おにぎりやドリンクが好調である。来客数も昨年を上回っている。 | |
| | コンビニ(店 長) | 単価の動き | ・質の高い商品や、興味のある商品には金を使う傾向が強まっている。 | |
| | 乗用車販売店 (経営者) | 来客数の動き | ・輸入車販売では、3月としてはこれまで最高の登録台数となっている。他社特に国産車との競合が始まっており、値引き要求が出てきている。 | |
| | 乗用車販売店 (経営者) | 来客数の動き | ・新規来店客が増加している。また成約までの商談回数が2~3回と少なくなっている。 | |
| | その他専門店 [白衣・ユニ フォーム](営 業担当) | 販売量の動き | ・年度の切り替え時期であり、人の動き、商品の動きなどがある。しかし新入社員の減少や働く人の減少により、ユニフォーム業界は昨年に比べては落ち込んでいる。 | |
| | 観光型ホテル (経営者) | 来客数の動き | ・3月に入り、県外からの客も目立ち始め、来客数は多少増加の傾向であるが、基本宿泊料や消費単価は前年を下回り、売上は辛うじて前年並である。 ・3月は送別の月であるが、会社関係は非常に少なく、学校の先生や公務員の有志での送別会が多少目に付く程度である。 | |
| 美容室(経営 者) | 販売量の動き | ・カットやパーマの他に、シャンプーやムースや整髪料を購入する客が増えている。 | | |
| 変わらない | 一般小売店[茶] (経営者) | お客様の様子 | ・今年は天候が落ち着いているためか、前年と比べても客の出足が良く、幾分華やかさがあるように見えるが、買い物物の単価をチェックして、今必要かどうかを検討している様子である。 | |
| | 一般小売店[書 籍](経営者) | お客様の様子 | ・電子辞典等の高額商品の大幅な売上の伸びを期待していたが、高額商品の全般的な買い控えが見られた。 | |
| | 百貨店(売場主 任) | お客様の様子 | ・ギフト商品の動きは、返礼ギフトを中心に動いているが、通常の箱物ギフトはいまいちである。こだわりギフトを求める客が多く、ラッピングを希望する客が多い。 | |
| | 百貨店(広報担 当) | お客様の様子 | ・催事や新規ブランドショップは好調に推移しているが、シーズンのファッションを中心としたプロパー商品の動きが、2月の反動のためか良くない。 ・お祝いや返礼需要で贈答品関連が動く時期であるが、非常に慎重な購買行動が見られる。 | |

| | | |
|------------------------|---------|---|
| スーパー（店長） | それ以外 | ・前年と比べ、日曜日が一日少ない中、食料品は既存店で前期比100%を維持している。しかし衣料品が91%と大きく割り込んでおり、全体の売上を落としている。 |
| スーパー（店長） | 競争相手の様子 | ・競争が激化している中、500m圏内のディスカウントストアが先月完全撤退した。更に淘汰が進む。 |
| スーパー（店長） | 販売量の動き | ・BSE、鳥インフルエンザなどで精肉の売上の落ち込みが大きい。その分鮮魚の売上は伸びているが、カバーしきれていない。 |
| スーパー（店長） | 来客数の動き | ・郊外大型店に客が流出している状況で、客数が前年比97%、売上も前年比97%と厳しい状況が続いている。 |
| スーパー（総務担当） | 単価の動き | ・食品の中で、生肉を除いた生鮮の平均単価は前月を上回っているが、生肉だけが前月を下回り、生鮮全体では前月比99.1%、前年比でも99.1%。加工食品は前年を超え、前月比でも101.8%、食品全体では、前年比100.5%となっている。雑貨は前月より1.1%ほど下落している。全体としては前年比100と前月と同じ数値である。 |
| スーパー（企画担当） | 単価の動き | ・客数は、酒類販売の自由化により既存店ベースで5%程度増えているが、客単価が94%まで低下し、客数の伸長分を食いつぶす結果となっている。 |
| 衣料品専門店（店長） | 来客数の動き | ・卒業して社会人になる人たちのマーケットの出遅れが深刻である。その他の客層は順調であるが、このマーケットは予断を許さない状況である。 |
| 乗用車販売店（経営者） | 来客数の動き | ・客に4月の模様眺めの傾向が見られ、4～5月の車両入れ替えの受注が遅れている。 |
| その他専門店【家電】（経営者） | お客様の様子 | ・新製品や話題性のある商品には問合せがあるが、結局は単機能のものや低価格の商品購入となっており、検討に検討を重ねて購入する様子が見える。 |
| その他専門店【靴】（経営者） | 販売量の動き | ・競合店の新規出店やリニューアルが相次ぎ、苦戦している。 |
| その他専門店【ガソリンスタンド】（営業担当） | 単価の動き | ・春のタイヤ等の需要が遅れているために、現時点では商品の動きが悪い。燃料は横ばい状況が続いている。本格的な商流がまだ見えない状況である。 |
| 高級レストラン（支配人） | 販売量の動き | ・客室では、大型コンベンションが減少し、法人需要が減少傾向にあり、前年を大幅に下回っている。 ・レストランは、カジュアルレストランが好調で前年比110%であったが、高級レストランが95%である。 ・デパートの惣菜店では160%と好調である。 ・宴会は婚礼が減少し、一般宴会および歓送迎会が大幅に増加したものの、前年比95%程度になっている。 |
| 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・競合店の相次ぐロードサイドへの出店により、来客の分散化が進み、来客数が前年実績を下回っている。 |
| 一般レストラン（スタッフ） | 来客数の動き | ・当社は寿司チェーンであるが、BSEの問題等で減った分が、流れて来るかと思っていたが、変わらない。 |
| その他飲食【そば】（経営者） | 単価の動き | ・来客数は少し増えているが、単価がその分低下しているため大きな変化はない。 |
| 都市型ホテル（経営者） | 販売量の動き | ・今月は、後半に入り歓送迎会などで忙しくなったが、前半は売上が悪い。 ・レストランでは個人および法人先の利用が回復しない。大口客が少ない。 ・宴会受注は例年並であったが、売上増にはならない。 |
| 都市型ホテル（スタッフ） | 来客数の動き | ・新規ホテルのオープン等厳しい環境下で、各部門共に利用人員の減少により売上ベースでもダウンが免れない状況である。客に評価されるホテルとそうでないホテルとの格差が明確になるのが平成16年度である。客に受け入れてもらえる商品を提供し、勝ち残りを図らなければならない。 |
| タクシー運転手 | 来客数の動き | ・とにかく客が少なく、夜は12時を過ぎると閑散としている。 ・異動時期であるが、歓送迎会は簡単になり公共機関の最終までに帰宅するようになっており、節約・儉約の状況である。 |

| | | | |
|--------------|----------------------------|--|--|
| | テーマパーク (職員) | 単価の動き | ・入場者数は、前年比102%であったのに対し、客単価は前年比97%と売上が低下している。 |
| | 遊園地(経営者) | 来客数の動き | ・3月に入ってから天候がばつとせず、客単価はやや上昇しているが、入場者数が少ない。イベントを充実させたが手ごたえがなく春休み期待になっている。 |
| | 美容室(経営者) | 来客数の動き | ・来客数自体は若干ながら増えているが、単価的には安いものへと流れており横ばい状況である。 |
| やや悪くなっている | スーパー(経営者) | 販売量の動き | ・買上個数の減少と、一品単価の下落が未だに続いている。このことから、しばらく回復の見込みはない。小売業界はまだまだトンネルから脱していない。 |
| | スーパー(経営者) | 単価の動き | ・4月1日からの価格表示の変更関連で動きが始めている。大手では消費税を還元する、或いは値下げすると表示しており、また一段と厳しい競争が起きる。 |
| | スーパー(店長) | お客様の様子 | ・イベント性が高く、金がかかる月であるだけに、無駄使いはしないようになってきている。客は、一日を過ごせる商業集積が進んだ郊外店に向かう傾向が強くなり、特に土日曜日は顕著である。 |
| | 乗用車販売店(経営者) | 販売量の動き | ・特にイベント時等において、サービス入庫の客で賑わい、サービスの売上が伸びているが、新車、中古車共に販売および購入見込み客が減少している。新卒や社会異動需要等がここ数年と比較して、著しく減少しているためである。 |
| | 住関連専門店(経営者) | 来客数の動き | ・大きな催事を実施したが、他のイベントとバッティングし来客数は大幅に減少している。 |
| | 住関連専門店(経営者) | 来客数の動き | ・2月末から少し上向きになってきたが、3月前半の悪天候によりそれがストップしている。中盤から後半にかけても春物実需が盛り上がり、客数の減少が続いている。 |
| | その他専門店 [ガソリンスタンド](営業担当) | 来客数の動き | ・価格的には横ばいであるが、消費者の動きがあまり急いで購入しているようではなく、総額表示になればますます落ち込む。 |
| | 一般レストラン(経営者) | それ以外 | ・毎日市場に行っているが、出入りしている魚屋の客である同業者が、今年に入り8~9軒ほど廃業している。 |
| | 観光型旅館(経営者) | 来客数の動き | ・2~3月と平日に客が来ない傾向が強まっている。土曜日や休前日はかなり前から予約が満杯となり、週末にレジャーが集中している。総体的に平日の落ち込みが激しく、売上はかなり落ち込んでいる。 |
| | 都市型ホテル(経営者) | 来客数の動き | ・宿泊に関しては、関東圏からの客が若干増えており、客数そのものの動きは良くなっている。しかし地元の動きはとても悪く、歓送迎会等の利用状況も悪い。 |
| 都市型ホテル(スタッフ) | 販売量の動き | ・曜日が限定されてきている。金曜日に限って、ホテルを利用するという傾向が顕著になっており、全体的には消費には向かっていない。 | |
| 旅行代理店(従業員) | お客様の様子 | ・今月は卒業旅行シーズンであるが、学生の予算が厳しくなっており、旅行も安近短となっていて、海外旅行でも安く済ませようとしている。 | |
| 悪くなっている | 一般小売店[医薬品](経営者) | 来客数の動き | ・3月は年間の中でも行事の多い月であるにも関わらず、繁華街を歩く人が少なくなっている。何が起きているか分からないが、突発的に人が少なくなっており、2月よりも少ないほどで、それがイコール当店の売上につながっている。 |
| | 百貨店(売場主任) | お客様の様子 | ・婦人服においてもスーツやコート等の実用衣料はそこそこ売れているが、ファッション商材、特に高額品の動きが悪くなっている。 |
| | 衣料品専門店(経営者) | 来客数の動き | ・この頃陽気が良くなっているが、依然として客数が伸びず、春物の動きが良くないため、悪くなっている。 |
| | 住関連専門店(経営者) | 単価の動き | ・例年実施している催事では、客数は伸びているが、売上は前年比で15%も減少している。 |
| | 住関連専門店(経営者) | 販売量の動き | ・今年は良いスタートを切ったが、今月に入りがた落ちし、売上が急降下している。景気が回復していないためなのか、理由は分からない。 |
| | 通信会社(営業担当) | 単価の動き | ・IP電話の影響で、一人当りの電話の利用料金が急激に減少している。 |

| | | | | |
|--|---------------------------|--------------------------|--|---|
| 企業 動向 関連 | 良く なっている | - | - | - |
| | やや良く なっている | 食料品製造業 (総務担当) | 受注量や販売量 の動き | ・12月よりは良いようであるが、清酒に限っていえば、動きがとても悪い。 |
| | | 電気機械器具製 造業(企画担 当) | それ以外 | ・春闘の回答が、組合側要求に近いものを出せた。そういう意味で、従来よりは上向いている。 |
| | | 輸送業(従業 員) | 取引先の様子 | ・航空会社の貨物搭載率が大幅に上昇している。 |
| | 変わらない | 出版・印刷・同 関連産業(経営 者) | 受注量や販売量 の動き | ・年度末であり受注量は増えているが、価格競争が厳しく、去年取れた仕事在今年取れなかつたりといった実収減が起きている。 |
| | | 一般機械器具製 造業(経理担 当) | それ以外 | ・為替水準が一時112円台まで戻り、輸出採算が改善されたかに見えたが、ここに来て円高は元の水準まで戻っており、輸出比率の高い当社は、好調な部分が円高により相殺されている。 |
| | | 電気機械器具製 造業(経営者) | 取引先の様子 | ・新規製品の情報はありますが、ほとんどが未確定で結論が出ていない。また試作しても量産の動きが見えず、各社市場動向の様子見の状況である。 |
| | | 電気機械器具製 造業(総務担 当) | それ以外 | ・需要は旺盛であるが、賞与等に反映されず変わらない。 |
| | | 金融業(営業担 当) | 取引先の様子 | ・景気の底打ち感はあるが、貸し出しの伸びは今一歩で、現状では横ばいである。 |
| | | 広告代理店(従 業員) | 受注価格や販売 価格の動き | ・年度末であり、駆け込み受注の件数はあるが、価格的には3か月前同様に去年とは比較にならないほど低い価格での受注になっている。 |
| コピーサービス 業(経営者) その他企業[管 理業](従業 員) | | 受注量や販売量 の動き 取引先の様子 | ・商談件数が少なく、業者数も増えているため、価格競争が厳しく、荷動きが悪くなっている。 ・出入り業者で、設備関係の業者は好調であるが、物流関係の仕事はあっても儲けが少なく、差が拡大している。 | |
| やや悪く なっている | 繊維工業(総務 担当) | 取引先の様子 | ・春夏物の納期に追われているが、産地関連業種の廃業が相次ぎ、生産能力の低下が懸念される。 | |
| | 出版・印刷・同 関連産業(経理 担当) | 受注量や販売量 の動き | ・毎年、年度末発注が集中する官公庁や金融機関の発注が減少している。 | |
| | 建設業(経営 者) | 競争相手の様子 | ・建設投資はピーク時の約60%となっているが、建設就業者は10%程度しか減少していない。これにより需給バランスが大きく崩れ、価格競争の一因となっている。 | |
| | 新聞販売店[広 告](店主) | 受注量や販売量 の動き | ・厳しくて地元紙との併読が難しいという理由での、購読のストップが増えている。チラシは横ばい状態である。 | |
| 悪く なっている | | | | |
| 雇用 関連 | 良く なっている | | | |
| | やや良く なっている | 人材派遣会社 (経営者) | 雇用形態の様子 | ・若年層を求める傾向が強まっている。高年齢者層の採用はますます厳しくなっているのが現状である。 |
| | | 人材派遣会社 (社員) | それ以外 | ・3月1日からの製造業派遣解禁により、各製造業から依頼や引き合いが出てきており、受注につながる見込みの案件も増えている。 |
| | | 人材派遣会社 (社員) | 求人数の動き | ・3～6か月前に比べ、確実に派遣依頼の数が増えている。各業種各企業から満遍なくオーダーが来ている。 |
| | | 人材派遣会社 (社員) | それ以外 | ・取引客数が前年比120%以上であり、企業の派遣活用の裾野が広がっている。 |
| 変わらない | 求人情報誌製作 会社(編集者) | 求人数の動き | ・求人件数は、前年実績を上回っている。加えて営業職、技術関連職といった企業の最前線で働く人たちの募集が増えている。企業が活性化している証左である。 | |
| | 職業安定所(職 員) | 求人数の動き | ・新規求人は前年同月比で若干増加しているが、有効求人倍率は前月と同じく横ばい状態である。 | |
| | 職業安定所(職 員) | 求人数の動き | ・増加傾向で推移していた求人が、2か月連続して前年同月比が減少となった。 | |
| | 職業安定所(職 員) | 求職者数の動き | ・求人の動きでは若干の改善傾向が窺えるが、求職者がこれまでの減少から増加に転じている。 | |

| | | | |
|-----------|----------------|---------|--|
| | 職業安定所（職員） | 採用者数の動き | ・求人数が増えても、採用者数にそれほど反映されていない。 |
| やや悪くなっている | - | - | - |
| 悪くなっている | アウトソーシング企業（社員） | それ以外 | ・新年度に向けた活動をしている。今までは1社随時契約もしくは1社だけの内示であったが、入札形式になってきて厳しい。この形式では受注価格も下がり、質も下がる。 |